

特別部門

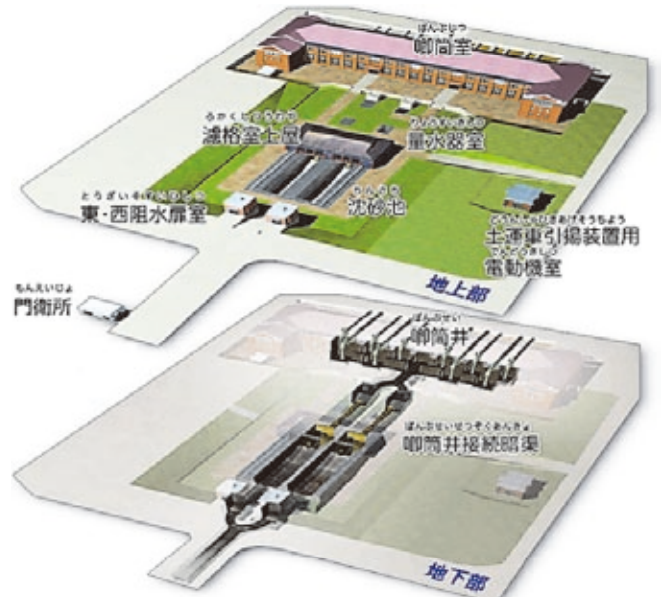
国指定重要文化財『旧三河島污水処分場^{ポンプ}唧筒場施設』
～わが国最初の近代下水道施設を公開・未来に継ぐ～

東京都下水道局



《唧筒場施設 全景》

- ・優美にしてクラシックな赤レンガタイルの建物が魅力
- ・沈砂池は建設当時の開放構造を復原



《旧三河島污水処分場唧筒場施設全体図》

- ・施設は地上部と地下部で構成
- ・地下部も含めた見学ルートを整備



《唧筒室内部》

- ・創建当時のままの屋根トラス
- ・バリアフリー及び建物内空間の保全に配慮し、耐震補強を実施



《地下暗渠》

- ・床面は摩耗に強い陶板タイルを使用

三河島水再生センター（東京都荒川区）の前身である旧三河島污水処分場は、わが国初の近代下水処理施設として大正11年に運用を開始しました。唧筒（ポンプ）場施設は、平成11年に休止するまで77年間稼働を続けた歴史的な建造物であり、平成19年に国の重要文化財（建造物）に指定されました。

東京都下水道局では、歴史的価値やバリアフリー等に配慮しつつ、施設の復原・保存工事を行い、平成25年4月から一般公開を開始しました。

公開ルートについては、見学者が下水処理システムの理解を深め歴史を感じ取れるように、通常見ることのできない地下部分への導線も確保しました。